



重症心身障がい 在宅支援センター

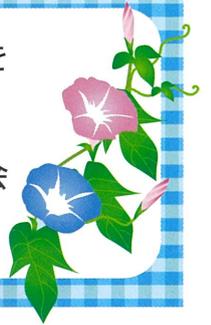


令和2年夏号発行

第11号

開催を予定しておりました家族交流会ですが、新型コロナウイルス感染の状況を鑑み、誠に勝手ながら3月の中濃地区・飛騨地区の開催は中止といたしました。

今年度は、従来のような交流会を開催することは困難なため、違う形での交流会を考えております。



岐阜県看護協会長挨拶



この度、岐阜県看護協会 会長に就任いたしました青木京子です。

どうぞよろしくお願いいたします。

平素は「みらい」の活動にご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。岐阜県内各医療圏に「みらい」がサテライトとして設置され、地域の重症心身障がい児者の方々に密着し、より迅速に、より深く活動できていれば幸いに思います。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、通常どおりの活動が制限されています。しかし、こんな時こそ皆様の日ごろの発想力、工夫が大いに輝きます。皆様とともに方法を工夫しながら、支援や情報共有などネットワークをより充実できるよう努めていきたいと考えています。

今後とも皆様のお力をお借りしながら進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



本所より



コロナの影響で世の中の景色が一変しましたね。

自粛や感染に対する不安で皆様本当に大変な思いをされているのではないかと思います。

私も大好きな家族交流会で皆様にお会いできず、とても残念でなりません。何かの形でお会いできること、またご家族同士がつながれることを日々考えています。さらに皆様からも何かいい案がありましたら、お知恵をくださいね。お待ちしております

なお現在も感染予防は十分にしてお家庭や施設には伺っておりますので、お気軽にご相談ください。どこでも参ります。

なにかの形で皆様にお会いできる日まで。きっと会えますもう少しだけ皆さん辛抱してくださいね。

「発見★きらり★アイデア在宅生活」は次回をお楽しみにしてください。

市川

サテライトよりこんにちは

飛騨

みなさんいかがお過ごしですか？
飛騨サテライトの渡邊です。
飛騨からはふたつの話題を提供します。

①【令和2年3月特別支援学校卒業児の母より】

昨日、初給料を貰ってきました。父が千円札を広げた横でにかあーっと笑う牡馬。嬉しかったです。家族で喜びました。毎日大変ですが、頑張ろうと思えます。

②高山病弱児を守る会“あかりんぐ”写真展が
飛騨サテライトで開催できました。



光景が目に浮かび思わず
微笑んでしまいました。



東濃

こんにちは。東濃サテライトの腰山です。

最近では何十年に一度という災害が頻発しており、ご家族様も災害対策への関心は高いと思われます。

東濃地区のお母様方に、災害への備えをお聞きしたところ、

- ・「車で過ごせるように、常にガソリンを満タンにしている」
- ・「キャンプ場で、テントで生活し寝袋で寝て電気のない生活を体験している」
- ・「停電になってもいいようにバッテリーを購入している」

など、それぞれ災害に備えて準備や工夫をしてみることがわかりました。

災害時は、まず数日間を乗り切ることが大切、と言われてます。

・災害時に必要なもの（薬・介護用品・経腸栄養剤・吸引チューブ・吸引器・呼吸器回路・アルコール綿・バッテリー・衣類等）は、7日間を目安に

ひとまとめにしてベッドの下に置いておく。

- ・各市町村の避難行動要支援者の登録を行う。
- ・家具・家電の転倒防止、食器類の飛散防止、建物・地盤の耐震性能の確認、ハザードマップの確認、地域の人たちとの連携も併せて行う。



中濃

こんにちは。中濃サテライトの粕谷です。

今年、3月開催予定の家族交流会が、突然の新型コロナウイルス流行で中止となってしまい、皆さんに会えなく残念でした。

コロナウイルスに対する特效薬もないことで障がい児・者のみなさんが感染しないかを心配していましたが、みなさんはどのようにお過ごしでしたか？

私は自粛中、世間の皆様と同じく家庭菜園にはまりました。トマト・きゅうり・ししとう・ゴーヤを

栽培し、朝一番に野菜の顔を見て癒されました。

国の指示に従い、外出の自粛・感染予防対策を心掛け、7月にはいり再び感染拡大の波が大きくなっていますが、少しでも早く普段の生活にもどれることを願っています。



コロナ社会での生活

～知事メッセージより(抜粋)～

①新しい生活様式の徹底を

「人との距離確保」「マスクを着用」「手洗いの習慣」
3つの密の確保

毎日、体調を自己チェック（障がいをお持ちの方は他者が気を付けて）

②感染リスクを避けて、慎重な行動を

岐阜県「感染警戒 QR システム」、国「接触確認アプリ（COCOA）」に登録

③自らの行動に責任を

④事業者の皆様も感染防止対策の徹底を



*ユニバーサルマスク

参考文献：新型コロナマスク着用による感染予防の最新エビデンス

「無症状の人も含めてマスクを着用する」

忽那賢志（感染専門医）

新型コロナウイルスの感染伝播の総量を100とすると発症前の無症状からの伝播が45%無症候感染者からの伝播が5%とされています。また咳で発生する飛沫の量と会話で発生する飛沫の量は大きく変わらないとする研究もあります。現在WHO（世界保健機構）では屋内では無症状の人もマスクをすることが推奨されています。このように新しい生活様式の中にはマスク着用を取り入れ、マスク着用以上の手洗いをこまめにすることが重要です。

ただし屋外でのマスクは熱中症のリスクから推奨されていません。また小児科医会は2歳未満の子どもは窒息や熱中症のリスクが高くなるとして不要でありむしろ危険という声明を出していますので注意してください。

◆ miraiの相談件数の推移

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	年
平成27年度		12	16	9	17	8	9	19	10	9	9	15	17		150件
平成28年度		24	26	24	18	16	21	15	19	25	30	37	37		292件
平成29年度		38	43	41	27	38	30	32	32	32	25	23	19		380件
平成30年度		26	31	37	33	28	28	49	30	42	27	41	23		395件
(平成30年度内訳)	本所	26	31	33	30	26	26	46	28	37	25	38	21	367	395件
	飛騨			4	3	2	2	3	2	5	2	3	2	28	
令和元年度(平成31年・2019年度)		30	32	35	27	23	25	27	28	29	27	27	23	333	333件
(令和元年度内訳)	本所	30	30	34	25	20	24	26	22	29	27	26	23	316	333件
	飛騨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	中濃	0	1	0	1	2	1	0	2	0	0	0	0	7	
	東濃	0	1	1	1	1	0	1	4	0	0	0	0	9	
令和2年度(2020年度)		41	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	65件
(令和2年度内訳)	本所	41	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	65件
	飛騨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中濃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	東濃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ 医薬品医療機器総合機構 PMDA からの医療機器適正使用のお願い No.1 2020年 7月
http://www.pmda.go.jp/

PMDAからの医療機器適正使用のお願い

(独) 医薬品医療機器総合機構

2020年 7月

在宅で人工呼吸器等を使用される患者さんや
そのご家族等の皆様へ

- 総務省が実施した実験で携帯電話等(スマホ、タブレットを含む)から出る電波(Wi-Fi環境を除く)が、人工呼吸器等(成人用人工呼吸器や二相式気道陽圧ユニットを含む)の動作に影響を与えるおそれのあることが分かりました。
- 特に、在宅で人工呼吸器等を使用する場合、患者さんやご家族、ヘルパー等の身の回りの方も注意が必要です。
- 患者さんやご家族の携帯電話等の使用を制限するものではありませんが、電波の影響を減らすために、以下に注意しましょう。

スマートフォン
タブレット
携帯電話

医療機器メーカーが示す距離よりも携帯電話等を離しましょう

医療スタッフから離す距離を教えてください

使用中に普段と異なる人工呼吸器等の動作がありましたら、医療スタッフへ相談しましょう。

1/2

■ 医薬品医療機器総合機構 PMDA からの医療機器適正使用のお願い No.1 2020年 7月
http://www.pmda.go.jp/

医療スタッフの皆様への留意点について

患者さんへの説明の前にお読みください

- このリーフレットの表面は、在宅において人工呼吸器等(成人用人工呼吸器や二相式気道陽圧ユニットを含む)を用いた治療を始める患者さんやその家族の方へ説明する時に、患者さんに見せながら使って頂くことを目的としたものです。
- 総務省による携帯電話の電波が医療機器に与える影響に関する検証
 - 総務省では、携帯電話端末(スマートフォン、タブレット等)から発せられる電波による、医療機器の動作への影響について検証実験を行っています。
 - 実験の結果、携帯電話端末を極めて接近させた際に、成人用人工呼吸器や二相式気道陽圧ユニットが、携帯電話端末からの電波の発射を、患者の自発呼吸であると誤って検知するといった事象が観察されました。(平成29年度・平成30年度)

URL: <https://www.tele.soumu.go.jp/sys/e/e/le/se/ita/chis/index.htm>

この実験は、**極端な状況を想定したもので、臨床現場で必ず再現されるというものではなく、臨床現場で同じ事象が実際に起きたという報告はありません。**今回の実験を基に、**患者さんや家族の携帯電話の利便を制限するものではありません。**

- 携帯電話端末を人工呼吸器等から離す距離については、**対象の医療機器の添付文書に以下のような記載があります。**

【重要な基本的注意】
▲ 携帯電話端末等(スマートフォン、タブレット端末等を含む。)をOm程度以内近づけた場合、電波干渉を受け不具合が発生する可能性があるため、動作状況を注意深く確認すること。また、使用患者やその家族に対しては日常の観察を指導すること。【本製品は※※※※への適合を確認している。】

※※※※の部分には、JIS(日本産業規格)やIEC規格(国際電気標準会議規格)で定める規格名称が入ります。

添付文書に書いてある距離は、医療機器メーカーにおいて、JIS規格等を基に計算したものですので、**以下を医療スタッフから患者や家族等の関係者に指導いただくようお願いいたします。**

- 人工呼吸器等のメーカーが示す距離から離して携帯電話端末等を使用する
- ✓ 日ごろの動作状況の確認をする

- 携帯電話端末等の電波によるものと思われる人工呼吸器等の動作不良が生じた場合には、医療機器メーカーの担当者へご連絡ください。お願いします。

発行先: PMDA 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 関係先: 医療機器品質管理・安全対策部 TEL: 03-3508-9030 (ダイヤル12) 医療機器安全課 FAX: 03-3506-9405 <http://www.pmda.go.jp/>

2/2

今後の計画

- 家族交流会
- 検討中
- 研修会
- 小児在宅研修会
- 場所/岐阜看護協会
- 決定次第お知らせいたします。



miraiは身近な相談窓口です。今後もお気軽にご相談ください。

★家族交流会の予定は、ホームページにて順次掲載します★

相談や指導は無料です

募集

家族交流会の企画を一緒に考えてくださる方を募集しています!

遊びを取り入れる?歌をうたう?勉強会をしてみたいわ。おしゃべり会がいいな~など、イベント内容やアイデアを出し合っ一緒に企画しませんか。希望される圏域のみで構いません。ご協力いただける方、お問い合わせの連絡をお待ちしております。

編集後記 皆様のご協力で、第11号を発行することができました。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【相談・お問い合わせ】 重症心身障がい在宅支援センター「mirai」
 【家族交流会申込】 ☎058-275-3234 E-mail: mirai@gifu-kango.or.jp
 ホームページアドレス <http://www.zaitaku-mirai.jp/>

